

生き生き 韓国文化

VOL.25



4月

韓国の映画

韓国最高のホラー映画、「箆笥（韓国名：薔花紅蓮）」



箆笥、 薔花紅蓮

お前は、本当の恐怖を知ってる？どうしても忘れて、消してしまいたいことがあるのに、忘れることも、消すこともできない。それは、一生付きまとう、亡霊のように。

「女校怪談」、「R-POINT」などが出た 2000年代初めは韓国ホラー映画の最盛期、そして「オールド・ボーイ」、「殺人の追憶」が出た 2003年は韓国映画の最盛期 と言われています。そして、今号でご紹介する映画は、2003年に公開された韓国最高のホラー映画、「箆笥（韓国名：薔花紅蓮）」です。

「箆笥」のあらすじ

スミ・スヨンの姉妹は幼い頃に母を亡くしており、父が別の女性と再婚したとの報せを聞き、父に招かれてある家にやって来た。そこへ美しくまだ歳も若い継母のウンジュが笑顔で出迎えてきた。しかしその笑顔の裏にはどこか冷たいものを感じ取られた。姉のスミは酷薄そうな雰囲気を持つウンジュを毛嫌いし、病弱で大人しい妹のスヨンはウンジュを怖がるようになった。一家が暮らし始めたその日から、家の中では奇怪な現象が立て続けに起こるようになる。姉妹を襲う悪夢、二人の前に現れた母の亡霊、そしてウンジュの視界に映る不気味な影…



原作の古典怪談、 薔花紅蓮伝

この映画の韓国名である「薔花紅蓮」は、朝鮮時代の小説、「薔花紅蓮伝」から来ました。小説は朝鮮の孝宗の時代に平安道の鉄山府使を務めた全東屹(チョン・ドンフル)が、継母の凶計によって無念の死を遂げた薔花・紅蓮姉妹の事件を扱った現地の物語をもとに作ったと言われます。

「薔花紅蓮伝」のあらすじ

鉄山で座首(地方監督を行う現地の有力者)を勤めるペ・ムリョンは、夫人のチャン氏と娘の薔花(チャンファ)・紅蓮(ホンニョン)を産んだ。しかしチャン氏は病気で死に、後継ぎを案じたペ座首はホ氏という女性を後妻に迎える。

容姿も性格も悪いホ氏は、前妻の二人の娘に対して色々な虐待を行った。薔花はホ氏の計略で罪の濡れ衣を着せられ、池に身を投げ死んだ。「薔花が死んだ」と聞いた紅蓮は悲しみに暮れ、姉を慕って池に落ち死んだ。

恨みが解けない二人の霊魂は、自分たちの無念を晴らして欲しいと鉄山府使の官衙を訪れるが、府使は夜中に現れた姉妹の幽霊を見て驚きのあまり死んでしまう。そんな中、チョン・ドンオという大胆無双の人物が鉄山府使を志願し、幽霊の姉妹からこれまでの事情を聞いて事件を再調査したところ、姉妹の言葉通りすべてがホ氏の計略であったことが判明した。府使はホ氏を厳罰に処し、薔花と紅蓮の遺体を収容して埋葬した。

お前はこの一瞬のことを一生後悔するだろう

主題歌、「取り返しのつかない歩み」



薔花紅蓮を語るなら、欠かせないのが映画の主題曲「取り返しのつかない歩み(日本名：A tale of two sisters)」です。「お前はこの一瞬のことを一生後悔するだろう」と言う継母の言葉を見無視して家を出ていくスミの姿と主題曲が流れるこの場面は映画の名場面にも数えられています。一瞬の決定が、その足取りが結局すべてを破局に突き進むようにしたこの場面は悲しみと恐怖が共存する音楽の雰囲気とどこか似ています。

